

# 大学院生のよこがお

在籍中の総研大生にインタビューしました。(2006年1月現在)

## 別府朋彦 (D2) ナノ触媒・生命分子素子研究部門・魚住グループ

D論テーマ ピロロイミダゾール骨格を有するキラルカルベン配位子の開発

出身学部 工学部 / 出身地 岡山県

ドクター進学理由 もう少し勉強を続けたかったからです。

分子研の最初の印象 広くてきれい。

分子研での生活 一人一人にずいぶん広いスペースがあり、恵まれた環境で研究しています。

後輩にひとこと 雰囲気は大学とは全然違います。自分に興味のある分野があれば一度見学させてもらおうと参考になると思います。

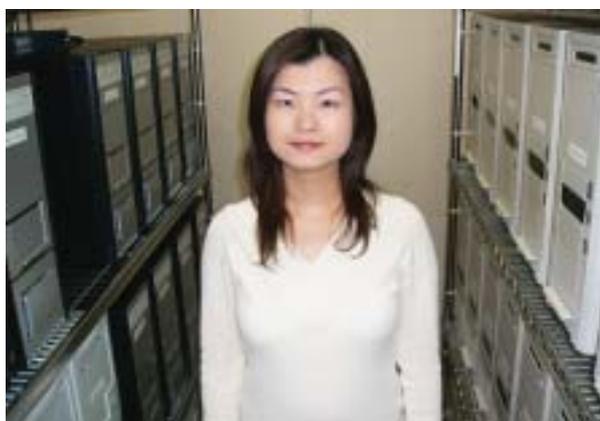
岡崎について しずかで住みやすいところだと思います。不便なく生活できますが、車があったほうが便利です。

最近の興味 研究面 触媒反応機構。

最近の興味 研究以外 とこかにうまいラーメン屋がないものか。



## 溝呂木直美 (D2) 分子基礎理論第一研究部門・永瀬グループ



D論テーマ 新機能をもつナノスケール材料の理論設計

出身学部 理学部 / 出身地 愛知県

ドクター進学理由 恵まれた環境の中でおもしろい研究をしてみたかったのです。

分子研の最初の印象 静かで大学の研究室とは全く違った雰囲気だと思いました。

分子研での生活 研究はもちろん、自分の分野外の授業やセミナーに参加したり、先生や先輩方と色々お話することで刺激を受けたりしています。

後輩にひとこと 分子研は研究を行うには素晴らしい環境だと思います。もっと研究を楽しみたい人にはおすすめです。

岡崎について 都会ではないですが、住みやすい場所だと思います。車等がある方が生活しやすいです。

最近の興味 研究面 フラーレン類やカーボンナノチューブの構造・電子構造

最近の興味 研究以外 車の運転、美味しいお店の探索、日本酒。

## 河尾真宏 (D1) 分子金属素子・分子エレクトロニクス研究部門・小川グループ

D論テーマ 金属微粒子と有機化合物を用いた構造体の構築とその物性の研究

出身学部 理工学部 / 出身地 倉橋町室尾 (広島)

ドクター進学理由 りっぱな先輩を見習って。もっと深く勉強したかった。

分子研の最初の印象 人と会うことが少なく寂しかった。暗証番号が分からなくて入れなかった。

分子研での生活 研究設備が整っていて、研究するにはとてもいい環境だと思います。



後輩にひとこと 研究するにはばっちこいな所だ  
と思う。

岡崎について 田舎ではないがとても静かでとき  
どきタヌキに出会います。まあまあすみやすい所  
です。

最近の興味 研究面 金微粒子とポルフィリンポ  
リマーの基板上での自己集合

最近の興味 研究以外 バレーボールしたいひと  
募集中。

### 田中雅之 (D1) 物性化学研究部門・薬師グループ

D論テーマ 振動分光法による二量体構造物質の  
電荷整列状態の研究

出身学部 工学部 / 出身地 横浜

ドクター進学理由 新しい分野で別視点からの研  
究をしてみたかったのだ。

分子研の最初の印象 廊下でなかなか人と出会わ  
ない。

分子研での生活 人材的にも設備的にも恵まれた  
環境で好きなだけ研究できます。

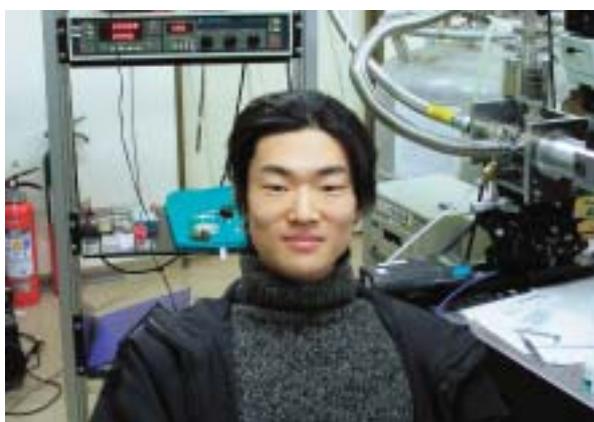
学生が少なく場所も分散しているのでヨコの交流  
は貴重です。

後輩にひとこと 百聞は一見にしかず、オープン  
ハウスや体験入学で実際に所内を覗いてみれば普  
通の大学との違いが感じられると思います。

岡崎について きれいで広くて住みやすい所です。よく車必須と言われますが僕は自転車。

最近の興味 研究面 電荷秩序相を持つ圧力誘起超伝導体中の電子状態

最近の興味 研究以外 一人暮らしを始めてから自炊が楽しい。



### 卒業生から 光武亜代理 (慶應義塾大学 理工学部 助手)

修士2年生の時から、受託生、総研大生、ポスドクとして計5年間、分子研にいました。初めのころは、新しい  
場所で、同世代が少ないこともあり、寂しい面もありました。特に、女子学生は少なく、見つけたら学年問わず友  
達になると良いと思います。私は、1年下に仲の良い友達がいる、夜など疲れた時に彼女の研究室に遊びにいった  
りして、いい気晴らしになりました。学生同士の交流を深めたらと思います。

総研大の学生さんは、修士課程まで行っていた研究と違う分野の研究を始める人も多いです。将来、研究者にな  
るうと思っている学生さんがほとんどで、今も、多くの知り合いが研究を続けています。また、たくさんの先輩方  
も研究者として活躍されており、励みになります。

総研大は博士課程からの大学院なので知られていないこともあるのか、スタッフに対する学生さんの人数が少ない  
のです。ですので、スタッフと頻りにディスカッションでき、研究者として鍛えられます。スタッフと飲みに行くことも多く、スタッフ  
の方が、熱く研究の話をされ、圧倒されたりもしました。また、世界  
レベルで活躍されている研究者の方が多く、良い刺激になります。

たくさんの講演会や研究会などもあり、最前線の研究を広く知ること  
ができます。外国の研究者も含めていろいろな研究者の方と知り合  
うことができます。

総研大は、研究設備が充実しており、非常に研究に集中できる環境  
だと思えます。さらに、色々な知識を深める上でも恵まれた環境だ  
と思えます。研究者としてやっていくために、総研大に入ったことは、非  
常に良かったと思っています。穴場的な存在ではと思います。是非、気  
軽に見学に行ってみると良いと思います。

最後に、毎年あったソフトボール大会は、良い思い出です。

